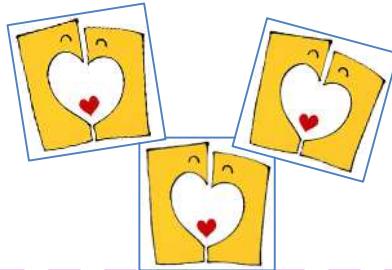


道徳通信



中島中学校 3学年道徳通信 No.1 R7.4.24

3年生のはじめの道徳では「傾聴」と「オープンクエスチョン」について学びました。

傾聴三原則を意識する

- ポイント① 笑顔で聞くことから始める
- ポイント② 相づち、うなずき、称賛を意識
- ポイント③ 相手の発言をオウム返しで繰り返す



- 「うん、うん」 「なるほど」
- 「そうだよね」 「へえ～」
- 「ありがとう」
- 「そうか、・・・だね」

オープンクエスチョンで議論を深める

- ポイント① 切り返しや問い合わせの手がかりとする
- ポイント② 対面の場面での話題を広げるツール（道具）とする



- 「もっと詳しく教えてください」 「それはどうですか」
- 「例えなどのようなことですか」 「それはどのような意味ですか」
- 「わけを教えてください」 「どうしてそう思ったのですか」
- 「逆に○○はどうですか」 「他にはどうですか」

生徒の振り返りより

答えるのは簡単だったが話を広げるオープンクエスチョンが難しいと感じた。

聞き手になったときの相づちを意識すると、話し手の内容がわかりやすくなったり、質問も思い浮かんだりした。

自分が聞くほうの時はうなずき、共感を意識した。聽かれているときは相手の目を見ながら答え、共感してもらえるうれしさを感じた。

相づちやうなずきは心を込めないとすぐに相手にばれてしまうことがわかった。僕はこういうことが苦手なのでオウム返しでいこうと思った。



はじめ、聞き手をしたとき会話が広がらなくて困ったが、話し手をしたときに聞き手の人がたくさん質問してくれたので答えやすかった。それで、自分でも実際にしてみるとうまくいった。

ご家庭でも「傾聴」やオープンクエスチョンについて話し合ってみてください。